

別紙様式（第7条関係）

平成21年11月16日

報 告 書

島田市議会議長 富澤保宏 様

島田市議会議員	大石節雄
島田市議会議員	小澤嘉曜
島田市議会議員	紅林 貢
島田市議会議員	坂下 修
島田市議会議員	桜井洋子
島田市議会議員	佐野義晴
島田市議会議員	曾根嘉明
島田市議会議員	溝下一夫

議会報告会に出席しましたので、次のとおり報告します。

- 1、日時 平成21年11月 6日（金）  
午後19時00分から 午後21時00分まで
- 2、会場 川根支所 大会議室 参加者 12名
- 3、役割
  - (1) 受付・・・小澤嘉曜、紅林 貢
  - (2) 司会・・・坂下 修
  - (3) 挨拶・概要説明・・・溝下一夫
  - (4) 報告・・・大石節雄（総務消防常任委員会）  
佐野義晴（民生病院教育常任委員会）  
曾根嘉明（経済建設文化常任委員会）
  - (5) 答弁・・・全員
  - (6) 記録・・・桜井洋子

#### 4、報告事項

##### (1) 議会の活動の動向の市民への報告について

###### ① 総務消防常任委員会より（大石節雄）

9月議会報告で、「しまだ議会だよりNo.21」13ページの内容を中心に報告。

###### ② 民生病院教育常任委員会より（佐野義晴）

9月議会報告で「しまだ議会だよりNo.21」11ページの内容を中心に報告。  
6月議会報告で「しまだ議会だよりNo.20」11ページの内容を中心に報告。  
新図書館建設問題、山村都市交流センターの指定管理者制度導入、新病院建設について、2件の陳情審査の経過と結果（国保税の引き下げ、中学3年生までの医療費補助）についての報告。

###### ③ 経済建設文化常任委員会より（曾根嘉明）

9月議会報告で「しまだ議会だよりNo.21」12ページの内容を中心に報告。  
市総合スポーツセンターと川根文化センターの指定管理者制度導入について報告。

##### (2) 意見及び情報の交換について

Q 6月議会で問題になった「参与について」の報告がないがどうしてか。参与の給与50万円を上限とする根拠や権限はあるかといえない事、部長会に出席しないことなど、いったい何かと思う。審議の経過の説明を。

A 9月議会を中心に報告をしたのであって、あえてしないということではない。参与は例えば、まちづくり島田、FM島田、川根温泉など、第三セクターをサポートしていく。具体的に市長に具申していくのが役割だ。委員会審議では、副委員長が進行。全議員から意見をもらって採決したが、市民に納得の説明が必要だと考え、委員会で代案（修正案）を出し、本会議にかけた。

Q 「田代の郷温泉」施設の循環ろ過装置の補正予算は問題だ。なぜ、改修するのか。設計ミスか。

A 掛け流しにしたいという事で設計したが、600人の予想を超える1000人が来て、ぬるいという苦情があり、循環式にした。設計通りなのでミスはない。

Q 川根文化センターの指定管理者制度導入でどこがどう変わるのか。「NP O ささま」なのか。

A 募集に2団体が応募。今月中に審査があり、11月に決定する。

Q ショッピングビルに入る施設、図書館、児童センターなど(3フロア)の買い取り価格はどうか。FM島田は床を買い取るのか。ただで貸すのか。買い取ったあと改造するのか。議会で承認してしまえば、大きな予算が掛かってきても阻止できない。将来費用がどうなのか、常に明確にすべきだ。

A その情報は出ていない。説明はまだない。

Q 野守の池の周辺整備費とは具体的に何か。

A 今回の予算はベンチの設置費用である。

Q 新市民病院は建設ありきということだが、その建設費は、150億円かかるともいわれ、かなりの借金だと思うがどうなるのか。

A 新聞報道による新病院建設計画によれば、平成25年着手・平成28年供用開始を目標に、事業規模150億円(建物100億円・器具費50億円)とする発表があった。但、計画であって、まだ決定ではない。

尚、建設原資としては、合併特例債あるいは病院建設事業債とか、まだ、財源については未定。

いずれにせよ、これからの4年間の最大の行政課題と考える。

Q 金谷中学の跡地にコンベンションセンターを造る計画について、県の方針はどうか。

A 「空港を活用したまちづくり特別委員会」が発足した。その委員会で空港振興課長の「用地も用意してある。県知事が替わったから、今までのことが変わりますよということではない。メッセの話は出ている。継続中ということだ。」との話があった。

Q 県が事業仕分けをしている状況の中、見直しが必要だ。JALの撤退もある。あそこにつくる必然性は疑問だ。「空港を活用したまちづくり特別委員会」では、手に入れた土地の活用について、メッセでなく、もっと他に有効活用することができるのではないかという議論をお願いしたい。

A—1 9月議会でも、県知事が替わって「いらないよ」といったらどうするのかという質問があった。メッセの話はいろいろの角度で考えられる。地域振興策としてどうするのかは、今後の課題だ。当局には、

県と情報を密にしてほしいと言ってある。

A-2 仙台の「ゆめメッセ」の視察では、地域の活性化に役立っていた。  
指定管理者で運営し、5～6千万円を県へ上納できたと聞いている。

A-3 メッセに関しては、志太榛原地域も視野に入れ、催し、産業振興など大きく考えていると思う。各市町と連携し、空港を核としたまちづくりを考えたい。

Q 意見を言う。今、きらメッセや沼津高架事業がばっさりきられている。志太榛原の利益と言うが、県民の利益とならなければならない。空港が出来たら発展する、だからメッセだ。と固執しないで、他の発想も必要ではないか。議会で深追いしないでほしい。もっといい使い方があるのではないか。

Q チャリム（川根文化センター）に図書館があるが、本が少ない。増やしてほしい。

A 川根図書館の目標蔵書数は4万5千冊と提言書にでていますが、方向性はまだ出ていない。移動図書館の復活、図書館の宅配サービスの提言も出ているところだ。

Q 駿遠橋の老朽化に対して、補修が進まない。具体的方策について、年度目標を出していただきたい。

A これまでも、地元議員として要望を出してきた。今後も早期掛け替えを強く要望していきたい。